
2014年度教職課程センターの報告

1. 法政大学教職課程センター三年目の活動

法政大学の教職課程教育の体制が抱えていた困難を克服し、教員免許を取得し、教員採用試験に挑戦する学生への系統的な指導を実施する目的を持って、2012年4月より、教職課程センターが発足した。2014年度は三年目の活動となった。

センター発足時における課題は以下のようなものであった。

第一に、現在法政大学は3キャンパスで教職課程教育を展開しているが、多摩キャンパス、小金井キャンパスにおける教員養成が、市ヶ谷キャンパスと比べても、体制的に見て大きな弱さを抱えており、各キャンパスに教職課程センターを設置し、相談指導員を配置することで、改善していくこと。

第二に、全学の教員養成のための教職専門教育についてはキャリアデザイン学部が責任を持つシステムを取っているが、全学の教職課程教育について、統一的な方針の下に日常的な指導を展開していく仕組みが不十分であり、教職課程センターを中心にして、全学的な改善、充実を図っていくこと。

第三に、近年の教員採用においては、教員免許取得に至る教員養成の全過程に対する大学としての意識的、日常的な指導、加えて個別的な指導が不可欠になってきており、教育実習や介護等体験を含めて、日常的な相談指導体制を整えること。

第四に、教員採用試験に合格し教職に就くには、学生自身の意識的な努力、系統的な準備が不可欠であるが、教職課程センターの援助によって、学生の採用試験に向けての意識的な構えを作り、学習会を組織するなど、共同で支え合う仕組みを作り出すこと。

2014年度もセンター長に尾木直樹教授(教職課程センター)、副センター長に佐貫浩教授(キャリアデザイン学部)、そしてセンター運営委員にこの両名の他、児美川孝一郎教授(キャリアデザイン学部)、平塚真樹教授(社会学部)、高野良一教授(キャリアデザイン学部)、左巻健男教授(教職課程センター)、筒井美紀准教授(キャリアデザイン学部)、遠藤野ゆり准教授(キャリアデザイン学部)、永木耕介教授(スポーツ健康学部)、林園子助教(スポーツ健康学部)が任じられ、運営に当たった。

また日常的な教職課程を履修する学生への教職相談指導活動を担当する教職相談指導員体制が、2014年度は、市ヶ谷地区は週4日体制、多摩地区週3日体制、小金井地区週3日体制で展開された。合わせて各センターに事務体制が取られており、センター(相談室)の開室日は市ヶ谷地区週5日、多摩地区週5日、小金井地区週5日となった。

2. 教職課程センターの基本性格

教職課程センターは、教職課程委員会が決定する基本方針に沿って、法政大学における教職課程教育のセンターとしての職務を遂行する機関である。具体的には以下のような仕事を担っている。

- ① 本学における教職課程教育の基本方針に沿ってその全体的かつ具体的な内容を計画し、その円滑な日常的推進を担う。
- ② 非常勤講師を含む教職課程教育の全体の統一の実施のための連絡調整の役割を担う。
- ③ 教育実習、介護等体験、その他の教職課程教育を遂行するために必要な企画や教育行事、ガイダンス等についての具体的な内容を決定し、学生への指導を実施する。
- ④ 教職課程履修生が記録する「履修カルテ」の管理と指導を担当する。
- ⑤ 教職課程に関する発行物（教職課程年報、教育実習の手引き等）の編集・発行を行う。
- ⑥ 教職を目指す学生への日常的な教職相談指導活動、系統的な援助（特別講座や採用試験対策講座などの開設）の実施。
- ⑦ 現職教員の研修への対応（免許更新制度への対応を含んで）。
- ⑧ 教職課程教育、学生の教員免許取得のための学習・研究に必要な書籍、資料などを蓄積し、学生の利用に供すること（教職資料および教職課程実習室の管理、運営）。
- ⑨ 本学学生の教職への就職等を支援する教育関係同窓生等を含んだネットワークの形成。
- ⑩ 本学の教職課程教育などに関する研究、調査。

3. 2014年度の教職課程センターの活動

1) 2014年度センター・相談室利用者数

(1) 市ヶ谷教職課程センター利用者数

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
教職関連の書籍利用	107	156	118	95	39	52	166	129	95	96	40	
教職関連の相談・問い合わせ	① 教職課程に関する学習相談	7	1	1			1					
	② 特に教育実習・同事前指導に関する相談	3	3	2					1		1	
	③ 進路に関する相談	5	2	3			6	2	2		2	
	④ 教員採用試験に関する相談	3		3		2	2	1	3		3	2
	⑤ その他（教育関連ボランティア活動、卒業生・教員訪問、機関授業・学習グループづくりその他）	37	49	15	19	28	7	36	15	16	15	5
	⑥ 教育相談受付 ※窓口対応	35	35	47	60	30	33	25	24	19	26	23
履修カルテ関連	321	211	10	3		144	261	14	6	19	11	
イベント申込み受付・問い合わせ（講座・模試・見学・シンポジウムなど）	40	4	5	18	12	10	17	12	33	28	63	
TEL・E-mail など問い合わせ	15	25	15	31	24	16	43	22	13	7	3	
その他	218	77	91	165	88	92	122	186	138	89	105	
教職相談指導件数	90	50	70	79	103	42	56	112	131	68	145	
合計	881	613	380	470	326	405	729	519	452	353	398	
開室日数	22	18	23	23	16	20	22	19	19	16	14	

(2) 教職課程センター多摩相談室利用者数

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
教職関連の書籍利用	5	6	10	18		8	6	5	6	6	3
教職関連の相談・問い合わせ	①教職課程に関する学習相談	4				1					
	②特に教育実習・同事前指導に関する相談		1	2	1	1					
	③進路に関する相談					1					
	④教員採用試験に関する相談	2	2		3						1
	⑤その他(教育関連ボランティア活動、卒業生・教員訪問、模擬授業・学習グループづくり その他)	18	8	12		13	5	2	2	2	3
	⑥教育相談受付 ※窓口対応	11	4	5	3		1	2			3
履修カルテ関連	159	105	4			117	204	4	5	47	5
イベント申込み受付・問い合わせ (講座・模試・見学・シンポジウムなど)	7		3	10	14	1	5	27	3	13	
TEL・E-mail など問い合わせ										5	1
その他	60	22	30	14		6	15	11	11	12	5
教職相談指導件数	43	35	37	53	11	16	13	29	33	6	25
合計	309	183	103	102	38	157	247	78	60	95	40

開室日数	21	17	21	21	6	16	20	16	16	15	14
------	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----

(3) 教職課程センター小金井相談室利用者数

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
教職関連の書籍利用	7		2							1	1
教職関連の相談・問い合わせ	①教職課程に関する学習相談	4									
	②特に教育実習・同事前指導に関する相談	1				1					
	③進路に関する相談	2		1							
	④教員採用試験に関する相談	1									
	⑤その他(教育関連ボランティア活動、卒業生・教員訪問、模擬授業・学習グループづくり その他)			1				2		1	
	⑥教育相談受付 ※窓口対応	7	4	2	4	2	1		1	2	
履修カルテ関連	143	101	6	1		21	51	52	38	12	17
イベント申込み受付・問い合わせ (講座・模試・見学・シンポジウムなど)	4		6	9	1		7	5	6	6	5
TEL・E-mail など問い合わせ	2		2		1						
その他	25	4	11	1	1	5	9	12	13	11	
教職相談指導件数	75	47	38	41	42	16	31	25	36	26	27
合計	271	156	69	56	47	44	100	95	96	56	52

開室日数	21	18	21	21	9	13	21	18	16	14	17
------	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----

2) 学生に対する教職相談指導活動

(1) 2014 年度センター・相談室別教職相談指導実施件数

相談員・相談実施日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
<市ヶ谷> 相談実施日：月～水・金曜日	90	50	70	79	10.3	42	56	112	131	68	145	946
<多摩> 相談実施日： 月～水曜日（4月～9月）／ 火・水（10月～2015年3月）	43	35	37	53	11	16	13	29	33	6	25	301
<小金井> 相談実施日： 月・水・土曜日（4月～8月）／ 月・水・金曜日（9月～3月）	75	47	38	41	42	16	31	25	36	26	27	404

(2) 市ヶ谷教職課程センターの活動概況

◆教職課程センター相談活動（市ヶ谷） 週4日実施

1) 概況

本センターは、教職課程準備室を経て2012年度に発足し、丸3年を経過した。センターの日常業務は教職相談指導員1名と事務職員3名により運営されている。また、附属施設として主に教職を目指す学生が自由に利用できる「教職課程実習室」と教育関係及び教職に関する書籍を収納する「ライブラリー」がある。週5日間開室され、まさに教職を目指す学生のセンター的役割を担っている。（ただし、教職相談指導員による相談は週4日）

2) センターの利用内容

[1] 主な教職相談の内容

- ①進路相談（公立・私立校）
- ②教員採用試験対策（面接・論文・模擬授業対策等）
- ③模擬授業実習（教育実習事前指導及び教科指導法等の授業準備）
- ④学習指導案の作成

[2] ライブラリーで利用できる主な書籍類

- ①教育関係研究図書・雑誌
- ②学習指導要領及び教科書（中学校・高等学校全教科）
- ③教員採用試験関係雑誌
- ④教員採用試験問題集・参考書
- ⑤教職関係ビデオ・DVD
- ⑥教育関係新聞

[3] 各自治体及び私立校の教員採用試験や学習支援ボランティア等の情報提供

[4] 教職に関する学習スペース（主に教職課程実習室）

3) 主な企画事業

[1] 自治体ごとの教員採用説明会

各自治体からの申し出により、これまで埼玉県・千葉県・神奈川県・川崎市・相模原市の担当者が来室し、教員採用試験の概要についての説明が行われている。

[2] 「合格者の体験を聞く会」

毎年2月に自治体や校種・教科などに則して、教員採用試験合格者の体験報告会を行っている。2014年度は、公立・私立中学校・高等学校の国語・社会・英語、公立小学校全科合格者6名によるプレゼンテーション及び各テーブルに分かれての質問コーナーを設けての懇談会を行った。

[3] 学校見学会

最近の学校現場の教育事情を知るために、希望者を対象とする「学校見学会」を2回行った。見学会では、各教科の授業参観、当該校の校長による学校紹介、学生による質疑などを行った。

[4] 教員採用二次試験対策講座

各自自治体の一次試験終了後、外部から面接官を招へいし、本番と同様の形式で「個人面接」を実施した。本年度は24名が参加した。

[5] 教員採用試験対策模擬試験

教職相談指導員の作成による公立校の教員採用試験を想定した「教職教養」「小論文」の試験を年間3回実施した。

[6] 自主学习グループによる教員採用試験対策のための勉強会

昨年度から本年度にかけて相談室に来室する学生が増加したことに伴い、3年生を中心に教科ごとの「自主学习グループ」が発足した。国語・社会・英語ごとに定例会を開催し、教職相談指導員の支援による「面接練習」や「模擬授業」などを行っている。2015年3月現在、30名を超える学生が登録し、熱心な活動が展開されている。

4) 取り組みの成果と課題

[1] 教職を目指す学生の「学ぶ空間」としての教職課程センターの役割の明確化

教職課程センターが設立される前は、教職を目指す学生が集う場所がなく、それぞれ個別に組み組んでいたが、設置されてからの3年間において教職課程センターの「認知度」が飛躍的に高まり、利用者数も年々増加している。集う場所としての「教職課程実習室」はもとより、センター内にある「ライブラリー」は、収納している書籍数が増加したこともあり、「学習情報センター」的な役割を果たしている。特に、教育実習事前準備のための模擬授業を行う学生や教員採用試験受験者にとっては不可欠の場所になりつつあると言っても過言ではない。

[2] 組織的・計画的な教員採用試験対策が功を奏した合格者の増加

本年度教員採用試験合格を目指して「自主学习グループ」に登録した学生の約8割がそれぞれの目標を達成することができた。特に、一次試験合格者で二次試験に失敗した受験者は2割を切る人数であった。この要因として「自主学习グループ」による組織的な取り組みがあげられる。受験者が個別ではなく、こころざしを同じくする者同士の切磋琢磨や励まし合いの中で、計画的に共に学ぶ体験をしたのである。

[3] 卒業生との連携を充実し、「教職を学ぶセンター」への取り組みの充実

東京都をはじめ現在、教員として活躍している卒業生も多いが、未だ大学との十分な連携は図られていない。教職を学んでいく上で今日の学校現場の状況を知ることが極めて重要である。卒業生の時代にはなかった教職課程センターの存在を知らせるとともに、卒業生の経験を伝えていただきながら、「これからの教職の在り方」などについて学べるセンターとしての役割を果たすための取り組みの充実を図ることが今後の課題である。

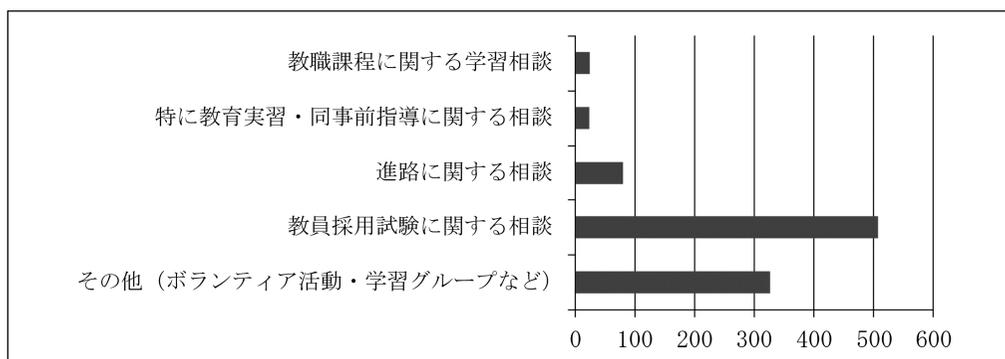
①学部・性別相談件数（2015年2月現在）

○法学部	83人	○文学部	513人	○経済学部	20人
○社会学部	4人	○経営学部	24人	○国際文化学部	22人
○人間環境学部	14人	○キャリアデザイン学部	77人	○理工学部	12人
○グローバル教養学部	7人	○スポーツ健康学部	44人	○大学院	10人
○通信教育学部*	67人	○卒業生	49人		

男子 550人 女子 396人 計 946人

※本学卒業生で通信教育学部在籍者を含む

②相談指導の内容別の統計から（2015年2月現在）



※2015年2月現在の集計

※教授試験相談は、試験に関する相談（学習重点、面接・論述・二次の模擬授業対策など）。

進路相談は、受験自治体の選択・私立と公立の選択・併願、免許取得の相談など。

(3) 多摩相談室の活動概況

◆教職課程センター相談活動（多摩） 2014年9月まで週3日実施、10月より週2日実施

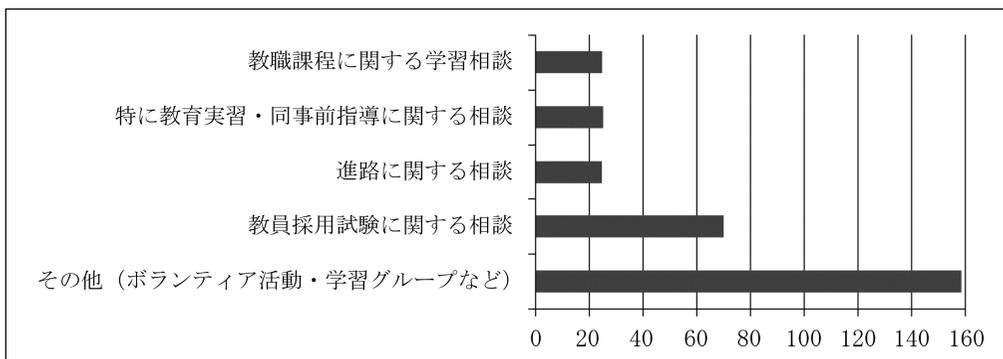
本年度は体育科、社会科（2名）の担当の相談員が勤務し、活動を行った。日常的な相談業務に加え、採用試験対策（体育科・社会科）の二つの自主学習グループを立ち上げ、学生たちが互いに課題を持ち寄り、教職に関する理解を深める場をつくった。また、学校・授業を見学するため社会・体育・特別支援の各授業に学生達を連れて行った。教員採用試験に向けた対策だけでなく、将来、教職に就いてから役立つ知識やスキルを身につけ、教育に対する自分の考えや意見を持てるようになることを重視して指導活動を展開した。意欲的な学生が増えつつあり、学生利用のさらなる増加が期待できる。また、「多摩だより」を18号まで発行し、学生への支援と相談室の広報につとめている。

①学部・性別相談件数（2015年2月現在）

○経済学部	92人	○社会学部	92人	○現代福祉学部	12人
○スポーツ健康学部	95人	○卒業生	7人	○科目等履修生	3人

男子 216人 女子 85人 計 301人

②相談指導の内容別の統計から（2015年2月現在）



※2015年2月現在の集計

※教採試験相談は、試験に関する相談（学習重点、面接・論述・二次の模擬授業対策など）。

進路相談は、受験自治体の選択・私立と公立の選択・併願、免許取得の相談など。

(4) 小金井相談室の活動概況

◆教職課程センター相談活動（小金井） 週3日実施

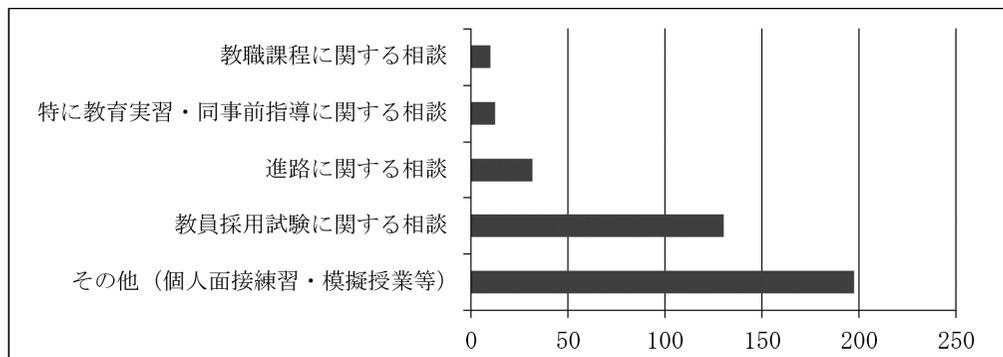
2014年度の相談来室者数は404人で前年度からでは131人の増（1.5倍）である。これは、4年生の利用者が圧倒的に多く、教員採用試験対策で「学生のニーズに応える相談室」・「相談室からの情報発信」を今年度の方針としたことが大きい。また、図書を揃え、閲覧場所などを設置するなど相談室の機能を改善してきた。今年度は卒業生からの相談もあった。その結果、教員採用試験の合格者が増加している。

ここで、今年度の活動状況を振りかえることで、次年度への改善に結びつけていきたい。

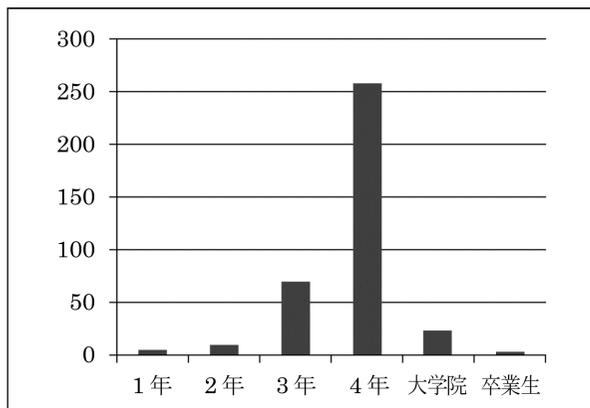
①学部・性別相談件数（2015年2月現在）

○理工学部 306人 ○生命科学部 71人 ○大学院 26人 ○卒業生 1人
 男子 327人 女子 77人 計 404人

②相談指導の内容別の統計から（2015年2月現在）



③学年別来室者数から（2015年2月現在）



延べで404人の学生が相談等に来室した。4年生が260人であり、直近にある教員採用試験における情報収集・面接練習・小論文指導等の相談指導が多い。3年生は、10月以降から利用者が増えているが、少数にとどまっている。講座等を後期に開催することで、意識化を図り、計画的で継続的な学習と対策を試みている。

今年度の開室方針で、相談室から教員志望の学生を把握し、採用試験に計画的・継続的に支援することを目指した。「教員採用試験対策講座」を7回開催し、前年よりも多くの学生の参加があった。この教員採用試験の対策が相談活動の中核となっている。

今年度は、4年生で模擬授業の自主学習グループ、3年生で東京都や神奈川県・埼玉県の受験希望者の自主学習グループがゆるやかに活動を始めている。このグループへの支援も今年度の相談活動の新たな特徴である。

※（2）の報告については木村俊二教職相談指導員、（3）の報告については重田博および本山明教職相談指導員、（4）の報告については小早川行雄教職相談指導員がそれぞれ担当した。

3) 教職課程センター各種イベント

(1) 法政大学教職課程センターシンポジウム

＜市ヶ谷地区＞

いじめ問題を考える2 ―予防のための教育のありかた―

日時：2015年3月25日（水） 18:00～20:30

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎2階 S205教室

○講演「子ども主体のいじめ防止教育」

尾木直樹（法政大学教職課程センター長）

○報告「いじめ防止につながる子どもの理解と支援」

渡辺弥生（法政大学文学部心理学科教授）

○報告「わが校のいじめ事前防止教育」

仲野繁（足立区立辰沼小学校長）

＜多摩地区＞

多摩でかたらう 2014～地域で学ぶ・ボランティア～

日 時：2014年11月26日（水）17:30～20:00

場 所：法政大学多摩キャンパス 総合棟 4F 第3会議室 AB

○プログラム

- ①「館ヶ丘団地での学生ボランティア活動（八王子市）」
- ②「その他の地域活動・地域づくりをする学生から（会場から）」
- ③尾木直樹先生からのお話～「地域で学ぶ・ボランティア」

*パネリスト：今泉靖徳（八王子シルバーふらっと相談室 館ヶ丘室長）

尾木直樹（法政大学教職課程センター長）

多摩でボランティアをしている学生

参加者数 55名

（2）教員採用試験二次対策（個人・集団面接）講座

市ヶ谷・多摩・小金井各キャンパスで教員採用試験二次対策講座を開催した。採用試験面接官経験者が講師となり、集団協議・面接対策を中心に実施した。

	実施日	延べ参加人数
市ヶ谷キャンパス	7月24日・7月25日	24
多摩キャンパス	8月5日・8月6日	18
小金井キャンパス	7月19日・8月1日・8月4日	55

市ヶ谷・多摩に関しては外部講師（面接官経験者）を講師に招いて実施した。小金井に関しては外部講師および小早川教職相談指導員が講師として実施した。

（3）教員採用試験合格者の体験を聞く会

市ヶ谷キャンパス 参加学生：33名	2015年2月20日（金） 15:00～17:00
多摩キャンパス 参加学生：15名	2015年1月30日（金） 15:00～16:20 ※自治体採用担当者の説明会も開催
小金井キャンパス 参加学生：7名	2014年11月14日（金） 16:50～18:20

（4）その他の活動

市ヶ谷キャンパス

①教員採用試験ガイダンス

主に1年生を対象とし、教員になるための心構えや教員採用試験についての説明をした。

第1回 2014年4月9日（水）実施 参加学生：51名（午前と午後の2回実施）

第2回 2014年5月13日(火)実施 参加学生：2名(午前のみ実施)

②都内公立中高等学校見学会

国語・社会・英語の授業参観を行った。

第1回 2014年11月22日(土)実施 参加学生：13名

第2回 2014年12月26日(金)実施 参加学生：2名

③教員採用試験学内模試

教職教養・小論文の模試を行った。

第1回 2014年4月23日(水)実施 参加学生：15名

第2回 2014年12月26日(金)実施 参加学生：13名

多摩キャンパス

都内公立中学校・埼玉県特別支援学校見学会

社会・特別支援学校(主に高等部)の授業参観を行った。

第1回 2014年9月5日(金)実施 参加学生：8名

第2回 2014年12月1日(月)実施 参加学生：3名

小金井キャンパス

「教員採用試験」対策講座(教職教養・小論文等)

第1回 2014年4月19日(土)実施 参加学生：15名

第2回 2014年5月17日(土)実施 参加学生：11名

第3回 2014年10月29日(水)実施 参加学生：5名

第4回 2014年11月28日(金)実施 参加学生：5名

第5回 2015年2月18日(水)実施 参加学生：5名

第6回 2015年2月28日(土)実施 参加学生：9名

第7回 2015年3月6日(金)実施 参加学生：8名

4. 2015年度に向けて

教職課程センターの活動を通して、法政大学の教職課程教育のいっそうの充実を図っていきたい。

第一に、各学年400人を超える教職課程履修生に対する日常的、系統的な指導と援助の体制をさらに充実していきたい。それは、教職課程を履修し、教員採用試験の合格を目指す学生にとって、大きな支えともなり、また意識的計画的に、かつ友人や教職相談指導員の支援を得て日々の取り組みを進めていくうえでも大きな励ましとなるだろう。特に、学生がグループやサークルを作り、日常的に学びあい、励ましあう関係を組織していくことが重要であり、この点での援助を強めていきたい。

第二に、法政大学の従来の教職課程履修の支援が、市ヶ谷地区に比して多摩地区・小金井地区でどうしても弱くなっていた状況があるが、教職課程センターの三キャンパス展開は、各キャンパスにおいて同じようなサービスを受けることができる方向への第一歩である。さらなる充実を実現していきたい。そのためにも、学生の積極的な利用を期待する。

第三に、本学の教員採用試験合格者は、従来 60 名程度（うち正規採用は 30 名程度）であったが、採用数の増加や教職課程センターによる就職支援活動の成果などによって、2013 年度は 88 名（うち正規採用は 51 名）へと向上している。教職関係就職者数は、系統的な援助体制を組むことでさらに増加の可能性がある。教職への道をより確実にする取り組みをさらに展開していきたい。

第四に、法政大学の教員養成の向上のためには、法政大学が歴史的に蓄積してきた教育界における様々なネットワークを最大限活用することが非常に重要となっている。教員養成への様々な援助の人材の把握や、就職に関係した情報の把握など、センターが中心となって、新たな支援ネットワークの形成を進めていきたい。

第五に、現在の教職課程教育にとっては、教育現場との連携を深めることが不可欠になっている。学校現場や施設などからの教育関係のボランティア募集なども多数始まっており、それらと教職を目指す学生との橋渡しをするなどして、各種のボランティア参加やインターンシップのセンターとしても機能させていきたい。

教員養成制度の大きな改変の時期を前にして、それに主体的に対応していくことが不可欠となっているが、教職課程センターの活動の経験の蓄積を踏まえて、今後への対応の方向を検討していきたい。

5. 2015 年度の教職課程センター・相談室のサービス

1) 教職課程センター 市ヶ谷 利用内容

●教職関連の書籍／DVD／ビデオの貸出・閲覧

※一部貸出不可の書籍などもあります。

○中学・高校 教科書／指導書

○教員採用試験雑誌「教員養成セミナー」「教職課程」

○教員採用試験問題集／参考書

○教育関係新聞「教育新聞」「日本教育新聞」

○教育関係書籍／ビデオ／DVD など

●学習支援ボランティア（学生ボランティア）情報の提供

●勉強会・学習スペースとしての利用

※教職課程実習室の利用に関しては予約が必要です。

●教職相談指導の実施

※事前申込みを優先いたします。

実施日：月～水および金曜日 10：00～17：00

申込み方法：kkc@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または教職課程センターに直接来室

<相談内容>

- ・就職相談・情報（公立・私立）
- ・教員採用試験対策（面接・論文・模擬授業対策）
- ・模擬授業実習（教育実習事前指導）
- ・教育実習指導案作成 など

●履修カルテの提出

2) 教職課程センター 多摩相談室 利用内容

●教職関連資料・書籍の閲覧

- 教員採用試験参考書・問題集
- 教育関連書籍
- 教員採用試験関連雑誌・新聞
- 中学・高校 教科書／指導書 など

●教職関連の相談指導

※事前申込みを優先いたします。

実施日：火・水・木曜日 10：00～18：00

教科関連の相談の場合、社会科は水・木曜日、保健体育科は火曜日に実施。

申込み方法：kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または多摩相談室に直接来室

<相談内容>

- ・教員免許取得、教職関連の進路相談
- ・教育実習準備に関する相談
- ・教員採用試験向け学習・準備に関する相談
- ・教員採用情報（公立・私立）
- ・学習支援ボランティア（学校・教育）ボランティア関連の相談
- ・スタディグループ（自主的学習活動）づくりに関する相談 など

●履修カルテの提出

3) 教職課程センター 小金井相談室 利用内容

●教職関連の書籍利用

- 教員採用試験の月刊誌（教員養成セミナー）
- 中学・高校 教科書／指導書
- 教員採用試験問題集
- 教育関連書籍・新聞
- 介護等体験、教育実習関連書籍

●教職相談指導の実施

※事前申込みを優先いたします。

実施日：月・水・土曜日 9：00～17：00

申込み方法：kkck@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または小金井相談室に直接来室

<相談内容>

- ・教員採用試験対策（論文・面接・模擬授業対策）
- ・教員採用情報（公立・私立）
- ・教育実習指導案作成
- ・教育ボランティア など

●履修カルテの提出

教職課程センター・相談室の利用および教職相談指導の申込みについては、原則として法政大学教職課程を履修している在学生の方（大学院生・通信教育部生含む）および卒業生の方の

みの利用とさせていただきます。一般の方のご利用はできませんので、ご了承ください。
 ※利用内容については、2015年4月現在の予定となります。

4) 教職課程センター・相談室開室日

教職課程センター・相談室	電話番号	開室日時
教職課程センター 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 富士見坂校舎 3階	03-3264-5562	月～金 10:00～18:00
教職課程センター 多摩相談室 〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 総合棟 2階	042-783-2087	月～金(土・日・祝除く) 10:00～18:00
教職課程センター 小金井相談室 〒184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2 西館 1階	042-387-6359	月～土(金除く) 9:00～17:00 (11:30～12:30 除く)

※夏季・冬季休業などで閉室の場合は事前にお知らせします。

※2015年度の開室日時の予定となります。最新の開室日時につきましてはホームページ等で確認してください。

(第一部文責・教職課程担当 佐貫浩。なお、法政大学の教職課程履修学生に関するデータ等は全て、学務部学部事務課の教職担当者及び教職課程センターの事務担当者によって処理・提供頂いたものである。)